

夕刊 磐城時報

日一十 編輯兼發行 岡田弘成 印刷所 加納活版所 發行所 磐城時報社 一都金貳圓 一ヶ月金廿圓 廣告料一行十二字計五十錢 日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

勇壯な通信と最後に 高橋君上海に散る 遂に戦死の入電

本社内郷支局 高橋喜一郎君

本社内郷支局内郷村大字宮字蛭子二五高橋喜一郎(三)君は添田部隊山浦隊一等兵として九月十三日勇躍應召したが上海方面の戦闘で名譽の戦死を遂げた旨十日通知があつた、同君の留守宅には妻と三子と長女節子(三)鈴子(二)の二人がある、十日午後留守宅を訪れると、子二人は二人の子供を相手に出征した父さんの寫眞を見乍らその凱旋話などをしてゐた折に記者から戦死の報を聞き一時は打ち沈んだが、『出征の際は死を覚悟し私達子供の事まで全部始末をつけて行つた程ですから私も今日ある事は豫期してゐました』と健気に語つてゐた、高橋君は支那に渡つてからも十月四日、十月十二日、十月二十日の三回に亘つて露營地から勇ましい陣中便りを本社讀者のために寄せてゐた、高橋君が上海方面から寄せた通信文の一部左の如くである

★第一報

十月四日上海〇〇にて△勇壯な我が添田部隊の一部山浦隊は〇〇日任地に〇〇に上陸夜間を利用して〇〇〇〇に宿營した、夜間敵の飛行機頭上を飛退却したが我が軍の猛射で撃退した、砲彈の集中射撃で敵は壯絶そのものである、

★第二報

十月十二日上海〇〇鎮の露營にて〇〇〇〇に頑強に抵抗する有力な支那兵(約〇〇〇〇)と稱せらるゝ敵を包圍すべ

上海方面の戦死者

勿來町の 有本君 小泉勝己君 市内の報告がある

平窪子線岡出身磐城炭礦機械夫小泉勝己一等兵は二十日上海方面で戦死した、家庭には母とつさ(六五)妻たま(二六)と子供二人がある

親孝行の 佐藤一等兵

四倉町仲町兩角部隊佐藤松吉一等兵は十八日戦死した、同君はあぐり船の漁師で常松(六四)の一人息子で町内で評判の親孝行であつた、出征に際し食料の家をたゞんで老父を隣家に住む母方の叔母鈴木もさんの方に預けて行つた、

木村林藏君

湯本町水野谷字諏訪ヶ崎八〇第二磐城炭礦坑夫木村林藏君は十七日戦死した、妻りよ(二八)との間に三人の子供がある

増子健雄君

好間村出身兩角部隊一等兵増子健雄君は上海方面で戦死を遂げた、同君は本月五六日頃武動をたてた事が傳へられてゐる

藤田一等兵

湯本町出身一等兵藤田源之助君は上海方面で戦死を遂げた、同君は本月五六日頃武動をたてた事が傳へられてゐる

鈴木彦次君

渡邊村鈴木彦次君は兩角部隊一等兵として奮戦中戦死した旨通知があつた

公 會 堂 建設委員會 平市公會堂建築委員會は十三日午後一時から開き三萬五千圓の起債並に宿附採納の報告がある

平・神谷間「平神橋」 喜びの渡橋式 平・神谷共同主催で 十四日盛大に舉行

防空演習

防空演習は来る十六日から行はれる事既報の如くであらう、三貫価格五百圓を持ち出し事が勿來町坑夫仙臺市原町が鐵道方面の燈火管制に同町窪田古物商坂口秋衛方生れ佐竹源喜(二三)勿來町

銅線六十三貫 五百圓分を盗む

勿來町大日本炭礦の倉庫内に五十三圓で賣り飛ばしたから去る八月初の銅線六十貫者があり八日植田署草野刑

平小鐵道問題について

星氏は湯本廻りは平小鐵道に非らずして湯小鐵道となる、夫れでは現在

平市民諸君に告ぐ

上陸下に思ならんとし東洋平和確保の爲め難難辛

役員改選

平西洋料理業組合では八日定時總會を開き役員を左の如く改選した

菜種指導

豊間村では十一日菜種實地指導會を開いたが郡駐在吉成技手出張した

目丁三市平 本店丸 營業所 電話三五九番 製作所 電話一八二番

て如斯文意の通信がない 陛下の股肱の臣として 國家の干城として子孫の 爲め戦つてゐることは 元よりであらうが故郷の父 母兄弟殊に妻子を思ふの 情切なるものがあるが、 路線決定などを考へて居る 間は、又上訴する事星氏 の許に申出た不届者が、 片濱邊にあると云ふが、是 れは恐らく星氏一流の捏 造デマである、上訴する 程の決心を有するものが、 事前に星代議士に告白す る等もなく豫約する等も ない、瘋癲白痴の者を教 諭して爲すものは論外と して、如斯ことも公衆集會の 面前で威嚇的に公言する 動機に演説することは、國 家に

互融會事業報告

十月中

融通口數 九三〇口
 融通金額 四、三八〇、〇〇〇
 滿期拂戻口數 八八〇口
 滿期拂戻金額 四、〇〇五、〇〇〇

概況 昭和十二年十月末現在
 會員數 八、三三一口
 世帯數 五、四五五戸
 積立金 一、四、九四二、二七七
 融通金額 一四、七五七、〇七
 融通金回収高 一、三四六、五〇
 滿期拂戻口數 四二二口
 滿期拂戻金額 一、三〇三、〇〇
 小資本金ノ相互融通

太平火災海上保險株式會社中央代理店

石城中小商工互融會

事務所 福島縣平市橋小路一番地
 電話五五五番
 小名濱方部 本方部 湯本町天王崎
 小名濱町古港 湯本方部 湯本町天王崎
 菊田方部 湯本方部 湯本町天王崎
 植田町支店 原町東一番町

各種清酒品評會成績
 昭和六年以來全縣下最優等連続受賞
 昭和八年以來東北六縣下最優等連続受賞
 昭和九年全國最優等連続受賞

酒 錦 榮川

ンセイエ

名譽賞受領

よく東北第一の清酒となりました
何卒倍舊の御愛顧を御願ひいたします

醸造元 宮森榮四郎
 特約店 永山酒店
 電話二〇七番

國威奮起 國民体育向上

秋のスポートス来る!!
 ★野球、庭球用具...特賣
 ★競技、体操用具...特賣
 ★各種運動服、特賣
 △非常時は足元から御用意下さい!!
 國防靴、茶利革自製品
 金七圓 訓練に工場靴に
 出征：歓迎の旗
 新型の京都製品の優美な旗
 ウキンドに陳列有ります。
 國旗、校旗、會旗、御注文を
 出來上り一週間に
 京都兒島代理店
 各種 自製靴 運道具
 大塚
 平市田町銀座通り
 電話七十七番

吉田眼科醫院

平市紺屋町(電話六八番)

マシンの設備
 ◎非常時に備へる
 銃後婦人の途
 これこそ一回の御手當で
 六ヶ月を保つパーマメント
 ☆時間の經濟と能率増進
 ☆非常時にふさはしい御洋髪
 ☆洗髪も御任意のまゝ
 △パーマメントは歐洲大戰以來流行
 御家庭の満足も、美容の保全から生る。

パーマメント

水野化粧院

主 水野冬子
 電話 五二五番
 六七八番

干やなぎの御注文は いか切込



御祝儀 御進物用 鯉節
 特に体裁優美格安に勉強任ります
 鯉鹽辛 もあります
 丸 仙魚店
 平市土橋(電話六六二番)

蓄膿症 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる
 良藥で、左の病症の方は一時も早く服用
 され快癒されん事を御奨め致します
 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症
 頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
 ◎其他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞
 讃されて居ります
 磐城國 平市一丁目
 快鼻湯製造元 水野藥局
 責任製劑者 藥劑師 水野清一
 電話六九九番

高久病院

平市田町 (電話五二三番)
 院長 高久忠
 副院長 赤羽清
 藥局長 佐竹菊雄
 内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

カナタ系種大産 銀黒 狐分
 純東北産 多産系種狸
 ゴールデン、フイツチ
 動物用藥品、榮養劑
 種畜飼育相談所
 福島縣平市橋小路壹番地
 乾産業合資會社
 平電五五五番
 ◎毛皮動物園...市外御臺境

債券 賣買 金融
 質物一般 多田井商店
 平市大工町
 電話 五九一
 振替仙台一五三九

開院廣告 平病院

平市警察署側 (元共濟病院跡)
 院長 醫學博士 鈴木定藏
 內科 院長 醫學博士 鈴木定藏
 小兒科 部長 醫學士 木下基一
 產婦人科 部長 醫學士 池谷宗三郎
 皮膚泌尿器科 部長 醫學博士 鈴木定藏
 レントゲン科 技師 岡田重徳
 物理的療法科 技師 岡田重徳
 藥劑科 部長 藥劑師 吉本孝平
 ◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
 夜間診療ニ從事ス (急患ハ此ノ限リニテアラス)
 往診隨時 入院隨時 (自炊ノ便アリ)
 病室完備...特等病室、一等病室五拾錢
 入院料 一日 二拾圓參拾錢